

# 財務戦略

## 持続的な成長のための基盤

IDECグループでは、営業活動を通じて約55億円のキャッシュを生み出しています。グローバルな事業活動を通じて創出したキャッシュを、設備や研究開発、人的資本のための投資や、株主還元などに活用することで、持続的な成長や企業価値向上の実現を目指しています。

収益性向上

さまざまな改革によるさらなる営業利益率向上の実現

資本効率向上

資本効率を向上させ10%以上のROE・ROICの確保

## 収益性・資本効率の向上に向けた財務戦略の推進

IDECグループでは、株主資本コストを8%とし、それを踏まえて資本コスト(WACC)を6%に設定しています。これを上回るリターンを創出し、企業価値を向上していくために、ROE(自己資本利益率)とROIC(投下資本利益率)を指標としており、継続的に10%以上の水準を確保することを目指しています。

中期経営計画において、グローバルでの売上高の拡大や、営業利益率の向上のための販売価格の適正化、生産の自動化・効率化を推進することで原価率を低減

するとともに、販売管理費を適切に管理することで経営体質の強化を進めてきました。またROE、ROICをさらに向上していくためには、収益性だけでなく資本効率の向上が必要になることから、製品の統廃合や不採算製品の見直し、グローバルでの拠点再編に関わる固定資産の適正化、今後の改革に繋がる積極的な投資拡大、キャッシュマネジメントなどを行ってきた結果、2022年度のROEは18.9%、ROICは12.5%となりました。

しかし2023年度については、市場環境の悪化に加え、

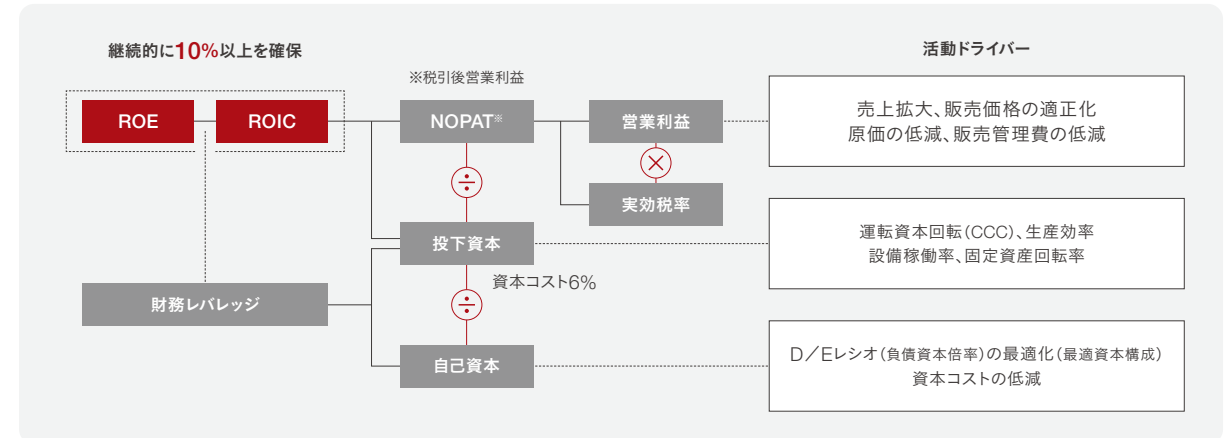
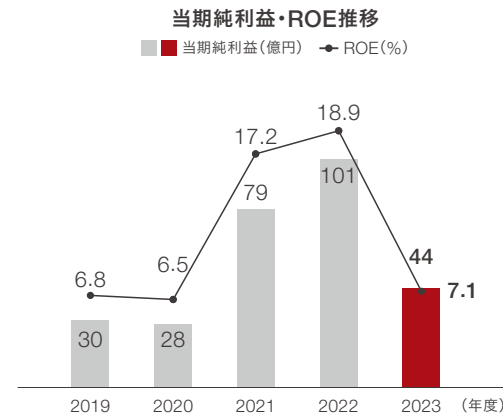
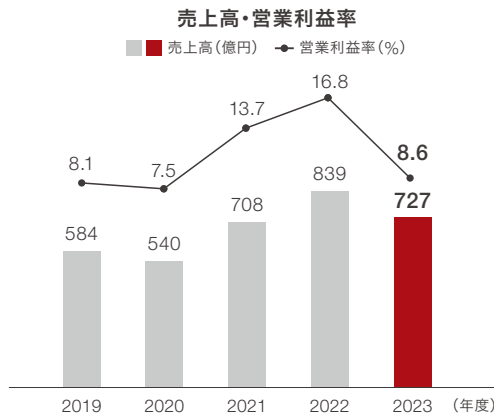
グローバルで在庫が増加し消化に想定以上に時間がかかったことから、売上高、利益ともに減収減益となりました。ROE、ROICも低下し、ROEは7.1%、ROICは4.7%となりました。

継続的に資本コスト6%を上回るよう、運転資本、生産設備など資本効率の向上を進めていくとともに、さらなる収益性の向上を実現するためにグローバルでの拠点再編や事業改革、DXなどを加速することで、抜本的なコスト低減を推進していきます。

## キャッシュマネジメントと株主還元策

2023年度は業績の悪化により、営業キャッシュ・フローは減少傾向となりましたが、長期的なトレンドとしては拡大しています。キャッシュマネジメントの強化を推進し、グローバルでの競争力強化のために必要となる、設備投資や研究開発などの資金は確保しつつ、株主の皆さまに継続的かつ安定的な配当を行っています。

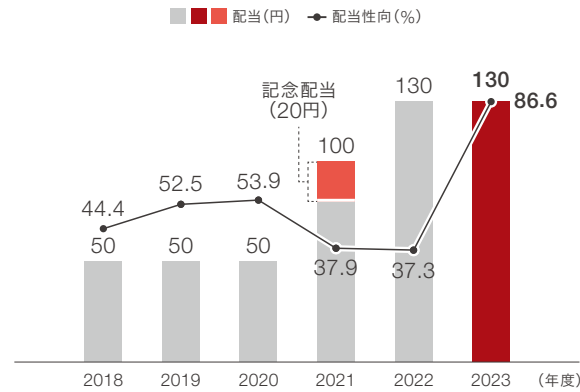
配当性向は30~50%を目標としており、2023年度の配当性向は86.6%、配当利回りは4.8%となりました。



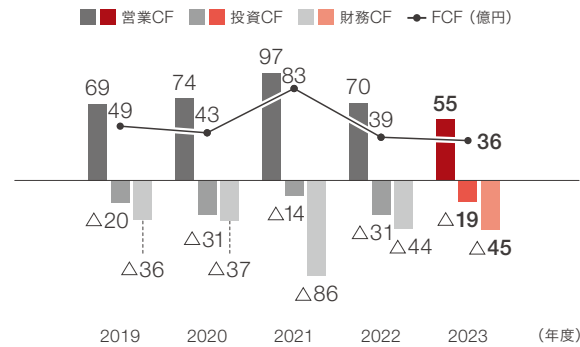
また、株価水準を踏まえて自己株式の取得も機動的に行っています。

今後も、中長期的な企業の成長のために必要な各種投資は積極的に行いつつ、収益性の向上と安定的な配当の実施を継続し、株主資本コストを上回ることができるような経営・財務戦略を推進していきます。

1株当たり年間配当金・配当性向



キャッシュ・フロー推移



## 投資戦略

継続的に成長を続けていくためには、グローバルでの事業拡大が不可欠であることから、成長投資の拡大を図っています。2021年にアルプスアルパイン株式会社との合併会社を設立し、2023年にはフランスのez-Wheelを買収するなど、既存事業とのシナジー効果が見込める分野や地域を中心に、M&Aやアライアンスを行っています。

人的資本に関しては、事業革新を推進していくことができる人材や、お客さまの課題に対して最適なソリューションを提案できる高い専門的知識を持った人材の採用・育成に加え、社員一人ひとりの研修・教育費用の拡大などを推進しています。また、国内外拠点への太陽光発電設備の設置や、環境負荷低減のための環境配慮強化型製品比率の向上、環境に配慮した素材の応用研究など、サステナビリティ投資についても拡大しています。

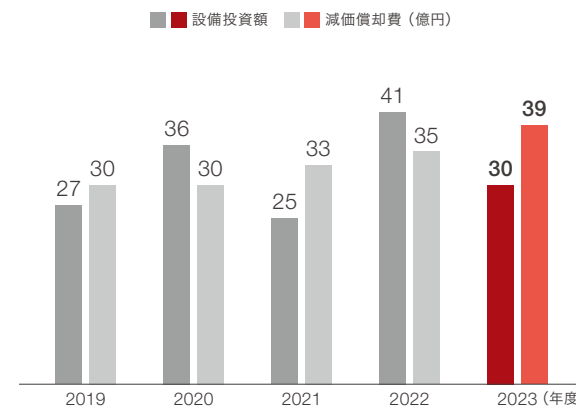
設備投資では、グローバル拠点の最適化や自動化・省力化設備の導入、ITインフラ強化などの継続的な取り組みに加え、全社の効率性向上を実現するDX推進にも注力しています。

長期的な視点での成長投資と株主還元を拡大することで、ステークホルダーの皆さまの期待に応えていきます。

## 中長期的な成長に向けた積極的な投資

課題	中期経営計画
成長投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ M&amp;A・アライアンス投資                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 安全分野、AGV業界、ソフトウェア、エンジニアリング強化に向けたM&amp;A、アライアンス</li> <li>- 中国、インドにおけるパートナーシップ強化</li> </ul> </li> <li>■ 新製品投資                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- New HMI・安全分野への積極投資</li> </ul> </li> <li>■ 人的投資                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 研修・教育費用の拡大、グローバル人材開発投資</li> </ul> </li> <li>■ サステナビリティ投資                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 太陽光発電設備の設置、省エネ空調設備への入れ替え、環境に配慮した製品開発、環境に配慮した素材の応用研究</li> </ul> </li> </ul>
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 拠点・設備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 生産拠点増設、自動化・省力化整備の導入、拠点最適化</li> </ul> </li> <li>■ DX投資                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- ERPの刷新、グローバルSCP導入、タレントマネジメントシステム整備</li> </ul> </li> </ul>
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 還元政策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 配当性向30～50%での積極的な配当、株価水準も踏まえた機動的な自社株取得の実施</li> </ul> </li> </ul>

設備投資額と減価償却費推移



研究開発費推移

